

座間市市民協働課

平成 27.4.30 受付
第 号

相互提案型協働事業実施報告書

平成27年4月30日

座間市長殿

団体 住所 座間市入谷4丁目2742-15
名称 花を咲かそうボランティアの会
代表者氏名 会長 野島誠一郎



市 担当課 都市部公園緑政課
所属長 課長 北川秀幸



次のとおり報告します。

1 事業名	水と緑の風広場「観光スポット水仙花壇造り」事業
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	平成25年度選考 (平成26年度実施)
4 報告期間	平成26年4月1日 から 平成27年3月31日 まで
5 事業費	538,172円 (うち座間市支出分 500,000円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>ふるさとの川「相模川」の水辺の自然環境を保全し、川岸にふさわしい緑の景観を創出するため、「水と緑の風広場」内の階段状の護岸を自主的ボランティアで4年かけて開墾・整地し、水仙を育ててきた。</p> <p>今年度からは相互提案型協働事業により、水仙が群生する座間の観光スポット(花の名所)造りとして広く市民に広報さま、緑化まつり等で活動をPRすると共に、市民参加の水仙見学研修会や標本用水仙花壇作りによって花壇の整備を進め、水仙まつりを開催する。</p> <p>市民の緑化美化への関心を高め、公共のスペースの緑化ボランティアの普及を推進する。</p>
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ()

相互提案型協働事業評価シート

事業名	水と緑の風広場「観光スポット水仙花壇造り」事業
-----	-------------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	<p>事業計画を十分達成できた。 初めて水仙まつりを開催し、市民に公開できた。 更に夏の花としてマリーゴールドを栽培。特定外来生物オオキンケイギクの駆除を実施。ハロースタデイ等PR活動を追加して実施した。</p>	<p>水と緑の風広場において、市民との協働による緑の拠点づくりが進められ、市民参加の広場づくりという所期の目的の下地ができた。</p>
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	<p>観光資源が乏しい座間市に観光スポットとして花の名所が2年後に出来ることを来園者が大変喜び、期待していました。 マスコミによるPR効果が大きく、水仙まつりに多くの市民や市外からも水仙の鑑賞に訪れていた。 緑化美化の社会貢献活動の理解が深まり会員は47名から79名に増加した。</p>	<p>緑化祭りのパネル展示や水仙見学会研修会実施へのサポート等により水仙花壇造りの活動状況の紹介等を協働により行うことで、市への問い合わせ等も多くなり、活動への関心が高められた。</p>

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	<p>十分に出来た。 4年間の自主的ボランティアから市との協働事業に移行した結果、広報ざま、緑化まつり、ふるさとまつり、水仙見学研修会等で担当課と十分協議できた。</p>	<p>団体代表者と1月に1回程度の打合せ調整を行うことで、事業目的や課題について議論し、共通認識を持てるように進めてきた。</p>

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	<p>ほぼ出来ている。</p> <p>市民への更なるボランティア活動のPRを図るため、協議のうえ当初の事業計画を見直し、ふるさと祭りの参加と水仙の球根購入を目的とした募金活動を加えた。</p>	進捗状況について随時調整をおこなうことで、進行管理ができた。
対 等 な 関 係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	<p>初めて参加する緑化まつり等の展示パネル作りに時間をかけて協議出来た。</p> <p>ふるさとまつりのブースでは担当課職員と協働で活動をPR出来た。</p>	協働事業としては初めての年であったが、対等な立場で協議調整することができた。
相 互 理 解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	<p>花壇の整備についてお互いに理解し協力出来た。</p>	1月に1回程度の調整をすることで、お互いの役割に基づく補える関係を築けた。

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果すことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <p>①水辺にふさわしい観光スポット作り</p> <p>②ラップ水仙花壇作り。</p> <p>③緑化まつり、ふるさとまつりに参加して活動をPR、会員募集。</p> <p>④水仙見学研修会の開催。</p> <p>⑤水仙まつりの開催。</p>	<p>(市の役割)</p> <p>広報ざまなどによる水仙花壇のPR</p> <p>緑化祭り参加時のPR資料作成</p> <p>水仙見学研修会のサポート</p> <p>河川管理者との調整</p> <p>相模川の増水時の流木等堆積物の除去作業</p>

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	妥当と思われます。	活動団体が行えない部分を市が行うことで適切であると考えている。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	お互いの立場を尊重して円滑に協議ができた。	緑化祭り参加資料作成、広報ざま、水仙見学会のサポート等を行い水仙花壇での活動のPRを行い、役割分担をはたすことができた。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	<p>①市との協働事業化によりボランティアのモチベーションが高くなり、社会に役立つことでやりがい、充実感、達成感を感じています。</p> <p>②広報ざま等マスコミ対応がやり易くなり、水仙まつりのPRが出来た。</p> <p>③県公園協会40周年記念協会賞の応募に市都市部長の推薦が得られた。</p>	水と緑の風広場は、市単独で年何回かの草刈剪定の維持管理を実施していたが、協働事業で水仙花壇づくりを行うことにより、市民の関心が高まり、緑の拠点としてPRできた。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え) 相互提案型協働事業を継続し、会の経営資源(人、物、金)を集中して花の名所に育てたい。</p> <p>花壇は整地しており、球根購入の募金活動による球根の購入と並行して、市からも球根を提供して頂きたい。</p> <p>上部6段の花壇の下段に石畳が4段あります。川側の2段が土砂に埋もれています。土砂を取り除き原形に戻して欲しい。</p>	<p>(市の考え) 団体が提案している内容から、部署を横断した協働事業で行うことが望ましいと考える。</p>